

介護発！魅力ある職場づくりによるYAMAGATA発展プロジェクト 令和4年度 生産性向上・業務改善の取り組みについて

介護人材の確保・定着のために、生産性向上や業務改善の取り組みを通して、より働きやすい職場づくりを支援します。

よくある経営者の悩み

- やりたいことはあるが現場に余力がない
- ミドルリーダーが育ってこない・任せられる人がいない
- 職員に元気、笑顔、会話がでない
- どうも非効率な仕事のやり方で残業しているように見える

生産性向上に取り組んだ後の声

- 現場がイキイキと働いてくれるようになり、雰囲気良くなった！
- 意見を言え、自分で考えられる、頼もしいリーダーが育ってきた！
- 離職も減り、事業所の運営が安定してきた！
- 業務のデジタル化が着実に進んでいる！

生産性向上モデル事業について

モデル事業所 1 事業所に**具体的で実践的な改善活動の Protokol**をご提供し約6ヶ月間に渡って改善活動を実施いただきます。またその改善活動に対し**業務改善支援に豊富な経験のある株式会社TRAPE**が伴走支援を行います。

ステップ	取り組み内容	想定期間 (R4.9月～R5.3月)
0	モデル施設との調整、PJ立ち上げ準備	3～4週間
1	全体キックオフ、活動スタート	1週間
2	現場環境の見える化、因果関係図の作成	3～4週間
3	課題の絞り込み、整理分析、事前データ確認	2～3週間
4	改善プランの作成	2～3週間
5	改善活動の実施、トライ&エラー（前半）	4～5週間
6	改善活動の実施、トライ&エラー（後半）	4～5週間
7	成果の振り返り、事後検証、とりまとめ	3～4週間

令和4年8月8日(月)14:00～16:00に市内の全介護サービス事業所を対象に「実践セミナー&ワークショップ」と「生産性向上モデル事業説明会」をオンラインで開催します。この機会にぜひご参加ください。**申し込みはこちら→**



業務改善ステップの詳細

ステップ1

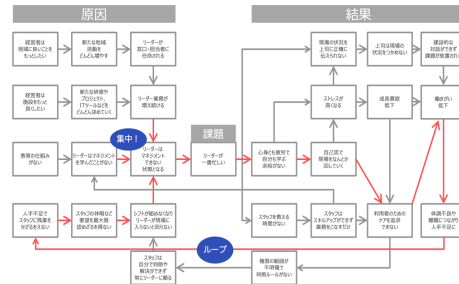
全体キックオフ



本事業を行う意味をプロジェクトチームやその他職員に経営層から直接語りかけてもらう。

ステップ2

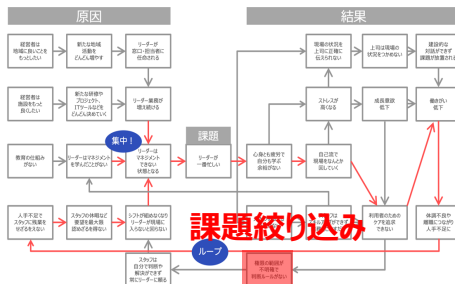
現場環境見える化
因果関係図の作成



現場の声をできるだけ多く集めた上で、ワークショップを開催し、「因果関係図」を作る。課題の見える化、構造化に取り組み職場の共通認識を作る。

ステップ3

課題の絞り込み,分析
事前データ確認



因果関係図をブラッシュアップさせていき、評価マトリクスを用いて取り組むテーマの絞り込みを実施。

ステップ4

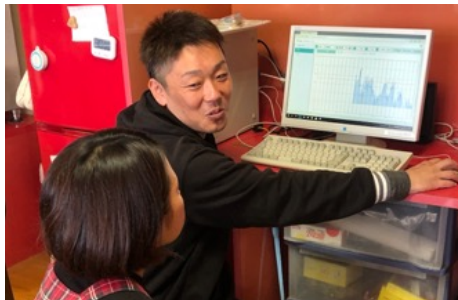
改善プランの作成

課題	現状	目標	改善策	責任者	実施期間	進捗状況	評価
課題1	現状値	目標値	改善策	責任者	実施期間	進捗状況	評価
課題2	現状値	目標値	改善策	責任者	実施期間	進捗状況	評価
課題3	現状値	目標値	改善策	責任者	実施期間	進捗状況	評価

絞り込んだ課題に対して、要素を分解し、課題解決に向けた道筋を具体的に設計する。これを改善プランに落とし込む。

ステップ5-6

改善活動の実施
トライ&エラー



小さく日々Tryし、小さい改善を繰り返していく。自分たちで考え、行動してその解釈に行き詰ったら、TRAPEに対して日常の中で小さく質問をし、そのまましておかないという習慣を身につけてもらう。

ステップ7

事後データ検証
成果の振り返り
まとめ

項目	改善前	改善後	変化率
1. 仕事している、気持ちよくなる	25%	30%	+43%
2. 業務は、見及がはげむ力になる	20%	37%	+71%
3. 仕事に、私に力を与えてくれる	4%	20%	+43%
4. 朝に目が覚める、おはあへ行く、いよいよ仕事になる	1%	20%	+43%
5. 仕事に、元気がもてる	1%	20%	+57%
6. 自分が仕事に誇りを感じる	1%	20%	+43%
7. 仕事に、元気がもてる	1%	20%	+43%
8. 仕事に、元気がもてる	1%	20%	+43%
9. 仕事に、元気がもてる	1%	20%	+43%

成果についてまとめ、振り返る(量的・質的)。成果が出た要因、課題として残ったところについて深掘りを実施する。また発表会を行うことで理解を更に深める機会とする。

介護発！魅力ある職場づくりによる YAMAGATA発展プロジェクト

山形市 × TRAPE

本プロジェクトでは、国の地方創生推進交付金を活用し、全国に先駆けて先進的な生産性向上モデル事業を展開します。介護現場の生産性や働きがい向上を強力に進めるべく、山形市と株式会社TRAPEが連携し、セミナー・ワークショップの開催や、モデル事業の実施を通して、山形市内の介護事業所を支援します。

実践セミナー & ワークショップ

ケアの質向上・人材確保につながる介護現場の「生産性&働きがい」向上にむけ、前年度に引き続き研修会を開催します。

同時開催

山形市 生産性向上モデル事業 説明会

本研修会に参加した事業所のうち1事業所をモデル事業所として選定し、豊富な知識と経験を有する株式会社TRAPEが伴走し業務改善の取組を支援します。

日時

令和4年8月8日（月）14:00～16:00

市内の全介護サービス事業者向け

場所

オンライン形式

※ Zoomを使用いたします

※ 必ず 13:45(開始15分前)までにご入室ください

対象

山形市の介護事業所の**経営層・現場リーダー層**
(※ぜひ経営層と現場リーダー層ご一緒にご参加ください)

お申し込み
は裏面に

内容

“働きがいのある職場づくりのための実践ワークショップ”

14:00～15:00 講演・事例紹介

15:00～16:00 ワークショップ・解説

講師

鎌田 大啓 氏 (かまたともひろ)

株式会社TRAPE 代表取締役

大阪大学医学部保健学科 医学系研究科招聘教員

(主な事業実績)

- ・平成30年度厚生労働省 介護サービスにおける生産性向上に資するガイドライン策定事業 委員
- ・(株)TRAPEとして西日本エリアの介護事業所に対する現場介入実施、その成果をガイドラインに反映)
- ・令和2年度、令和3年度厚生労働省 介護現場における生産性向上全国セミナー 講師
- ・令和3年度 介護現場における持続的な生産性向上の取組みを支援・拡大する調査研究事業 委員



主催

山形市 福祉推進部 長寿支援課

TEL : 023-641-1212 (内線653) FAX : 023-624-8398

E-mail : choju@city.yamagata-yamagata.lg.jp

運営・事務局

株式会社TRAPE 山形市事業 事務局

TEL : 06-6379-3580 FAX : 06-6485-3911

E-mail : yamagata@trape.jp



FAXで本紙を送信 **06-6485-3911**

スマホでのお申込みは
こちらのQRコードから↓

セミナー 申込書

または

PCからこちらの **申込みフォーム** へご入力↓
<https://forms.gle/SqwLjZvERp4xyEuK7>



申込期限：令和4年8月4日（木）

申込み事業所情報

法人名 & 事業所名		申込み担当者名	
住所	〒		
電話番号		FAX番号	

参加者情報

参加者氏名	参加者役職	参加者メールアドレス ※ ご案内が確実に行き届くよう、できるだけ複数人分のアドレスをご記載ください

申込時アンケート

本研修は、山形市が主催し、受託者である株式会社TRAPEが事務局を務めています。
ご記入いただきました情報は、必要なセキュリティ管理のもと、本研修の目的の範囲内にて限定して利用します。

問1. 現在抱えている組織・現場課題を教えてください。（最大3つまで）

- | | | |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1.人材の採用・定着 | <input type="checkbox"/> 6.ビジョン・理念の浸透ができていない | <input type="checkbox"/> 11.経営状況が悪い |
| <input type="checkbox"/> 2.任せられる管理職・リーダーが不在 | <input type="checkbox"/> 7.すでにICTを導入したが活用できていない | <input type="checkbox"/> 12.ケアの質が不十分 |
| <input type="checkbox"/> 3.現場に主体性がない | <input type="checkbox"/> 8.今後ICTを導入したいが
何を使ったら良いかわからない | <input type="checkbox"/> 13.事業計画の立て方やマネジメントのやり方が
わからない |
| <input type="checkbox"/> 4.業務が非効率 | <input type="checkbox"/> 9.職場の雰囲気が悪い・不満が多い | <input type="checkbox"/> 14.取り組むべき課題の優先順位が整理できていない |
| <input type="checkbox"/> 5.将来のビジョン、今後の事業展開に悩んでいる | <input type="checkbox"/> 10.利用者が集まらない | <input type="checkbox"/> 15.改善すべき課題があるが自分だけで
計画を立てるのが難しい |

問2. 問1で選択した課題について、どのくらいの危機感を感じていますか？

- とても強い危機感を感じており、今すぐに改善に取り組むべきかと思っている
- 危機感を感じているが今すぐに改善しないといけないという感じではない
- それほどの危機感ではなく順次できるペースで改善していけば良いと感じている
- 危機感を感じていない

問3. 問1で選択した課題について、現在どのように対処されていますか？

- ①対処の仕方がわからず、何も行動できていない
- ②対処の仕方はわかっているが、まだ何も行動できていない
- ③できることから対処しているが、うまくいかないことが多い
- ④できることから対処しており、徐々に改善している
- ⑤外部コンサルタントなどに依頼しているが、改善していない
- ⑥外部コンサルタントなどに依頼しており、改善している

問4. 問3で③～⑥のいずれかを選択した方は、具体的にどのような対処が行われているか内容を教えてください

--

<講師への質問など>

--